

学生、「はっち」でダンス披露 八学短大

八戸

八戸学院大短期大
学部幼児保育学科

（澤井睦美学科長）は20日、八戸市三日町の「はっち」で「はっちdeクリスマス」を開催した。学生がハンドベルの演奏やダンスなどを披露。詰めかけた大勢の親子連れらが華やかなステージを堪能した。

クリスマスシーズンに合わせて、学生に授業やサークル活動の成果を発表してもらおうと、毎年開催しているイベント。

発表は午前と午後に分けて実施。学生53人がイングリッシュハンドベルを用いた「ジングルベル」の演奏や、オリジナル絵本の読み聞かせ、ピアノ演奏、キレのあるダンスなどを披露した。

来場者は音楽に合わせて手拍子したり、振り付けをまねたりしながら一足早い聖夜の訪れを楽しんだ。

市内から家族4人で訪れた、湊高台（みなとたかい）も園年長組の小笠原新来（あさの）ちゃん（5）は「お姉さんたちのダンスがかわいかった」、年少組で妹の世来（よき）ちゃん（3）は「絵本の読み聞かせが面白かった。来年もまた来たい」と満足げだった。

（丹代裕太）

息ひったりのダンスで会場を沸かせる
幼児保育学科の学生

